

討論

賛成



賛成討論
石渡悦子 議員

反対討論はありませんでした

学校給食センター 事業特別会計

安全な食材の供給を

菅澤博隆委員 有機農産物の出荷をしていただける交渉などはしているか。また、地元産の野菜を使用する場合の農薬使用に関するチェックはどのようにしているか。

学校給食センター所長 町の生産者から直接購入している野菜について、検査証を求めるようなことはしていません。町でどんなものが有機等で作られているかというの、生産者の名簿を担当課から頂戴して、あたっていくというようなことまではしていない状況です。



安全でおいしい給食を

菅澤博隆委員 一年間のある時期だけでも、農業を使っていない食材でできるような状況が作れるのであれば、安全な食材を供給するというところで検討いただきたい。

学校給食センター所長 安心安全な給食を提供するのが給食センターのモットーですので、今後研究してまいりたいと思います。

国民健康保険事業 特別会計

保険税の減額要因は

石渡悦子委員 一般被保険者国民健康保険税の減額の要因は。税務課長 人口が減る中、適用事業所については、社会保険の加入を勧めていることも含め、被保険者数の減少等により、保険税額が減少しています。

農業集落排水事業 特別会計

なにを修繕するのか

行橋千春委員 修繕料の内訳は。生活環境課長 汚泥乾燥車の修繕を年次計画でやらせていただいています。十余三地区については真空システムを設けており、突発的な修繕がおこることもあり、予算を計上しています。また真空ステーションの非常用発電の

不具合については、この当初予算で対応させていただきます。

介護保険事業 特別会計

介護サービス給付費が増額

石渡悦子委員 介護サービス給付費の増減要因は。保健福祉課長 施設入所もあわせてですが、居宅サービスも含めて自然増で増額をしています。また中央病院西病棟の療養病床から介護医療院への転換の影響も大きいです。

後期高齢者医療 特別会計

影響人数は

石渡悦子委員 県の広域での論議を受けての予算立てであるが、保険料の所得割の率、均等割額、限度額がそれぞれ引き上げられたが、影響を受ける人数は。住民課長 均等割額と保険料率で変わった人数は広域の方でもわからないということでしたが、限度額では17名です。

病院事業会計

病床転換による増収

土井清司委員 福祉サービス収益が大幅な増収となっているが、要因は。病院事務長 西病棟を療養病床から介護医療院へ転換する予定であり、この介護医療院にかかる入所収益や居宅介護サービス収益等の増収を見込んでの計上をさせていただいています。

水道事業会計

多古水の販路拡大を

勝又一徳委員 多古水の新しい販路は。町長 遅くとも新年度からJR成田駅、津田沼駅のニューデイズに置いていただけるように、担当課が他の職員にも協力をいただいて開拓をしてきました。



好評な多古水

令和2年度予算に対し討論

町民の安心に寄与する予算

本予算の特徴的な点は、昨年の災害を教訓に庁舎、避難所機能を持つ保健福祉センター、水道、防災無線等々に非常用発電設備に重点化がはかられます。災害に強いまちづくりが更に進み、町民の安心・安全に寄与することと評価いたします。

福祉・子育て支援策では、多古中央病院内に病児保育施設が開設されます。多古中央病院小児科との連携は、保護者の安心と信頼を得るものです。自治体病院や病児保育は、いわゆる「不採算部門」と評される領域です。しかしながら、その果たす役割は大きく、まさに住民の命とくらし、福祉を守る砦として町の施策

に位置づけ、取り組む姿勢は、町内はもとより、県内でも高く評価されます。

多古町成田空港東側戦略構想に基づく複合エリア、町道鷹ノ巣・二本松線の詳細設計が盛り込まれました。地元説明はもとより、何より地権者の皆さまに對しましては、丁寧な説明と対応をお願いいたします。

多古中央病院再編・統合問題につきましては、機能転換による存続・充実が図られる体制づくりが表明されました。町長の「安心してください！」という言葉に依拠し、期待をいたします。

各分野の政策を評価

令和元年房総半島台風など過去の災害より得られた教訓から、防災対策拠点となる役場庁舎・水道事業・保健福祉センター・コミュニティプラザには非常用発電機の設置・整備、避難所などの外部スピーカーには発電機でも使用できる設備も計画的に整備され、人命を守り、被害が致命的なものにならず迅速に回復する「強さとしなやかさ」を備えた、災害に強いまちづくりとして評価します。

生活環境分野では現役警察官が千葉県警から派遣され、条例違反の取締り・事前指導・巡回監視の強化がなされ、町民の安心安全に資する取

り組みです。

福祉分野では「子育て世代包括支援センター」に助産師を採用し、妊産婦に寄添ったサービスの提供、特定不妊治療助成金額の増額支援、三種混合ワクチンの対象年齢拡大など、妊娠期から育児期まで幅広い追加支援策で「3つのゼロ」と共に子育て環境の更なる向上として評価します。

土木事業では「多古町未来構想」に位置づけした、定住と商工業の複合エリアにおける道路整備のため、鷹ノ巣・二本松線の詳細設計に着手する事は、未来につながるものとして期待します。

賛成



賛成討論
飯田良一 議員